【１】学年　教科【技術・家庭（技術分野）】　担当【　　】

１　学習目標

（１）　材料と加工の技術について調べる活動などを通して，材料や加工の特性等の原理・法則と，材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解し，技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。
（２）　既製品における問題を，材料と加工の技術によって解決する活動を通し，製作に必要な図をかき，安全・適切な製作や検査・点検等ができ，問題を見いだして課題を設定し，材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに，製作の過程や結果の評価，改善及び修正について考えることができる。
（３）　これからの社会の発展と材料と加工の技術の在り方を考える活動などを通して，生活や社会，環境との関わりを踏まえて，技術の概念を理解し，技術を評価し，適切な選択と管理・運用の在り方や，新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。

２　使用教科書・教材

（１）教科書　「新しい技術・家庭（技術分野）」（東京書籍）
（２）副教材　「ハンドノート技術分野」（正進社）
（３）教材　　小学校での学習状況を踏まえた学習キット教材を予定

３　学習内容および学習時期の目安

	学習題材名	学習内容（教科書項目名）
１学期（４～７月）	Ａ　材料と加工の技術（１） 「調べる活動」を通して既存の材料と加工の技術の特徴を理解する活動	１編　材料と加工の技術 １章　材料と加工の技術の原理・法則と仕組み
２学期（８～１２月）	Ａ　材料と加工の技術（２） 「技術によって解決する活動」を通して目的に応じた製作品の設計・製作をおこなう問題解決活動	１編　材料と加工の技術 ２章　材料と加工の技術による問題解決
３学期（１～３月）	Ａ　材料と加工の技術（３） 「技術の在り方を考える活動」を通して社会の発展と適切に技術を評価する活動	１編　材料と加工の技術 ３章　社会の発展と材料と加工の技術 １編　材料と加工の技術のまとめ

４　評価規準およびその方法

観点	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	○材料や加工についての科学的な原理・法則の理解をすることができる。 ○材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みの理解をすることができる。 ○製作に必要な図をかき，安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けることができる。 ○生活や社会に果たす役割や影響に基づいた材料と加工の技術の概念の理解をすることができる。	・定期テスト ・技能テスト ・ワークシート ・レポート ・製作物
思考・判断・表現	○既存の材料と加工の技術に込められた工夫を読み取ろうとしている。 ○材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ○材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて，問題を見いだして課題を設定し解決できる力を養うことができる。 ○よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，材料と加工	・定期テスト ・技能テスト ・ワークシート ・レポート ・製作物

	の技術を評価し，適切に選択，管理・運用したり，新たな発想に基づいて改良，応用したりする力を養うことができる。	
主体的に学習に取り組む態度	○進んで材料と加工の技術と関わり，主体的に理解し，技能を身に付けようとする態度を持つことができる。 ○自分なりの新しい考え方や捉え方によって，解決策を構想しようとする態度を持つことができる。 ○自らの問題解決とその過程を振り返り，よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度を持つことができる。 ○よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，材料と加工の技術を工夫し創造していこうとする態度を持つことができる。	・授業への取り組み（授業準備・授業態度・片付け） ・提出物の状況 ・安全面への配慮